



福祉映画会



©2018 豊田市・映画「星めぐりの町」実行委員会

平成30年9月9日(日)

開場：午後0時30分 開演：午後1時30分

会場：春日井市民会館

字幕・要約筆記、手話通訳、音声ガイド、
車椅子スペース6席、託児(※)あり

※託児は9月9日(日)現在、満1歳・2歳限定で先着10組が対象
事前予約は8月15日(水)から

入場無料
定員1000人
(当日先着順)

<内容>

- 12:30~13:20 ボランティア活動展(ホワイエ内)
ボランティアセンターの事業紹介
- 13:30~13:40 開演、主催者あいさつ
- 13:40~13:50 春日井市社会福祉協議会の事業紹介
- 13:50~15:40 「星めぐりの町」の上映

【ボランティア活動展の様子】

ロビーコンサートの様子



体験ブースの様子



小林稔侍、 映画初主演！

家族を失った少年と、実直に生きる豆腐屋との運命の出会い。
心の再生を通じて、生きていくことの大切さを教えてくれる物語。

主人公の実直な豆腐屋・島田勇作を演じるのは、1960年代より活躍し、76歳にして本作が映画初主演となる国民的名優・小林稔侍。東日本大震災で家族全員を失った少年・政美に優しく寄り添いながら、少年の心の再生を見守る昔気質の男を存在感たっぷりに演じる。家族を失った少年役は、オーディションで選ばれたシンデレラボーイの荒井陽太。勇作とふたりで暮らす娘・志保役には壇蜜。勇作が豆腐を卸している料理屋の女将を高島礼子が演じるほか、平田満、六平直政、神戸浩ら実力派俳優が脇を固める。『蝉しぐれ』(05)以降、12年ぶりの映画となる巨匠・黒土三男監督が、ものづくりのまち愛知県豊田市全域でロケを行い、人と自然に誠実に向き合い、額に汗して働き、ていねいに生きる人々の物語を生み出しました。宮澤賢治「雨ニモマケズ、風ニモマケズ」の精神ををそのまま体現するかのような、心に響く名作の誕生です。



STORY: 妻を早くに亡くし、一人娘の志保と二人暮らしをする主人公の島田勇作。京都で豆腐作りの修行を積んだ勇作は、毎朝じっくりと手間と時間をかけて美味しい豆腐を作り、町の主婦や料理屋に届ける生活を続けていた。そんなある日、勇作の元に、警察官に付き添われ、東日本大震災で津波により家族全員を一瞬で失った少年・政美がやって来る。亡き妻の遠縁にあたるという政美。突然の不幸により心に傷を抱える政美を、勇作はただ静かに見守り続ける。自然に根差した自給自足の勇作との暮らしの中で、薄皮が一枚、また一枚とはがれるように、少しずつ心を再生させていく政美。しかし勇作がひとりで配達に出ている最中、町が大きな揺れに襲われ、一人で留守番をしていた政美は震災の恐怖がよみがえり、姿を消してしまう…。

小林稔侍 壇蜜 荒井陽太 神戸浩 佐津川愛美 石田卓也
小林健 小林千晴 六平直政 / 平田満 / 高島礼子

脚本・監督: 黒土三男「蝉しぐれ」

音楽: 羽岡佳 / エグゼクティブプロデューサー: 岩城レイ子 / プロデューサー: 中尾幸男
製作: 豊田市・映画「星めぐりの町」実行委員会 / 配給・宣伝: ファントム・フィルム
制作プロダクション: エース・プロダクション / ケイセブン / 宣伝協力: プリマステラ

上映時間: 1時間48分 / カラー / ビスタサイズ / 5.1ch ©2018 豊田市・映画「星めぐりの町」実行委員会 hoshimachi.jp



あなたにとって優しい音は？

町で流れている信号機の「カッコー」や「ピヨピヨ」の音、家電製品の開始や制止音、駅の改札口等で聞こえる「ピンポン」の音。これらは「音サイン」であり、目の不自由な方々に向けて開発されたものです。普段、私たちが何気なく耳にしている音の中にも優しさが詰まった音が多くあります。

